



「こどもまんなか応援サポーター」宣言について

～ こどもも大人も、ともに幸せに暮らせる南砺市をめざして ～

こども家庭庁では、こどもに関する取組や政策を社会のまんなかに据えた「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組として「こどもまんなか応援サポーター」を募集しています。

南砺市は、国が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、本日（令和5年8月7日）、「こどもまんなか応援サポーター」を宣言します。

■ 内容説明

1 国の動向

2030年代に入るまでの6～7年が、少子化傾向を反転させるラストチャンスであるとの認識の下、今後3年間で集中取組期間として「こども・子育て支援加速化プラン」に取り組むとしています。

具体的には、年齢、性別を問わず、すべての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進めるため、こどもまんなか社会の実現に賛同する企業・個人・地方自治体などに「こどもまんなか応援サポーター」となってもらい、「今日からできること」を実践し、取り組んだ内容を自ら発信する「こどもまんなか応援プロジェクト」が進められています。

2 これまでの市の取組

令和2年度から、「誰一人取り残さない、誰もが笑顔で暮らし続けられるまち」の実現をめざし、第2次総合計画がスタートしました。また、すべてのこども達が心豊かな人間として育つための環境づくりを進めるため、多くの市民の参加を得て「こどもの権利条例」を制定し、本年4月からはこどもの権利を保障し、「こどもも大人も、ともに幸せに暮らせる南砺市」をめざした総合的なまちづくりに取り組んでいます。



南砺市こどもの権利
キャラクター
サンカック
(参加する権利)

3 「こどもまんなか応援サポーター」宣言

南砺市が進める「誰一人取り残さない」、「こどもも大人も、ともに幸せに暮らせるまち」の実現にむけた取組は、国が進める「こどもまんなか社会」の実現にむけた社会の意識・構造変革の取組とゴールを同じくする取組であることから、このたび、南砺市として「こどもまんなか応援サポーター」を宣言します。



こどもの権利

南砺市「こどもまんなか応援サポーター」宣言



総合政策部 こども課

子ども家庭庁では、こどもに関する取組や政策を社会のまんなかに据えた「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組として「こどもまんなか応援サポーター」を募集しています。南砺市では、国が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、3つの具体的な取り組みを実施します。



「こどもまんなか」とは…

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。どんな時も、こどものことを考えていきます。



令和5年
8月7日（月）
宣言！



（1）こどもまんなかの趣旨に賛同します。

市がこれまで進めてきた、まちづくりのビジョンとも符合。

- ・市総合計画 「誰一人取り残さない、誰もが笑顔で暮らせるまち」（まちの将来像）
- ・市こどもの権利条例 「こどもにとってやさしい社会は、大人にとってもやさしい社会」（条例前文）

（2）南砺市としての「こどもまんなか」なアクションに取り組みます。

- ①こどもや若者の意見を尊重し、こどもが主体となる取組。（ボクなん、中学生による「市長への提言」など）
- ②こどもの権利条例に基づく取組。（権利委員会、大人・こども部会の開催、アクションプランの策定）
- ③こどもと子育て世帯を支援する取組の充実。（公共施設におけるこどもファスト・トラックの導入検討や、こどもの居場所づくりに取り組む地域の支援、デジタルを活用した相談支援の充実など）

（3）南砺市のアクションを発信し、広く参加を呼びかけます。

- ・上記の取組について、公式アカウントなどで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信





こどもと子育て世帯を支援する取組の充実



① こどもファスト・トラックの導入検討

※こどもファスト・トラックとは…

公共施設や商業施設などの受付において、妊婦の方やこども連れの方を優先する取組。

本庁舎や7つの市民センターの窓口をはじめ、図書館、美術館、文化センター、体育館など、公共施設での導入を検討します。



② こどもの居場所づくりの促進

「こどもまんなか」の趣旨を広く市民と共有するための取組として、地域でこどもと子育て世帯に寄り添う取組を進めています。

子どもの居場所づくり促進事業（R3年度～）

地域のつながりを強化し、子育て世帯の孤立防止や子どもの健全な育成に取り組もうとする団体の立ち上げ・運営を支援（1/2補助、5,000円/月、年25日未満、3年間）

【R5実施予定】 6 団体

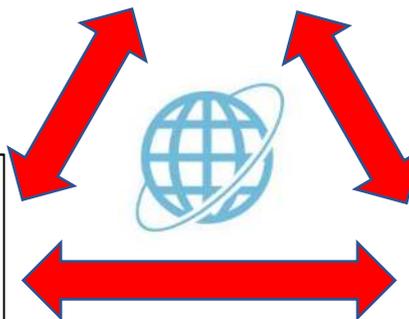
【参考】 R2 年国勢調査における南砺市の世帯数 16,483世帯
うち、18歳未満のいる世帯数 3,458世帯（20.9%）

③ デジタルを活用した相談支援の充実

こども家庭相談室「スマイルなんと」での、妊産婦やひとり親、子育て家庭のさまざまな悩みごとへの相談対応に加えて、Web版子育て支援ガイド「[すこやかWeb](#)」、子育て支援アプリ「[なんとHug](#)」、子育て相談チャットボット「[Bebot](#)」が連携し、24時間体制で子育て家庭の問い合わせや相談に対応し、デジタルでも「こどもまんなか」な南砺市をめざします。

切れ目のない・誰一人取り残さない・南砺の伴走型支援

- ・一人ひとりに届く、分かりやすい情報提供
- ・一対一の相談、行事予約
- ・子育て世代の交流・仲間づくり



困りごとを入力するだけで、AIチャットボットが必要な情報へとエスコート！南砺市への移住を検討する子育て世帯からも利用されています。

